
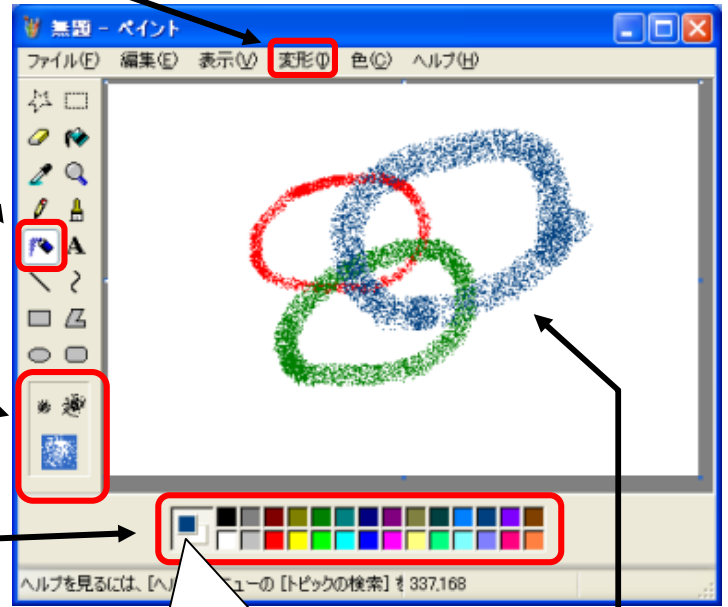


# 描画ソフト・ペイント(エアブラシ)

描画ソフト・ペイントを使用するといろいろな図を描くことができます。今回は「鉛筆」による線ではなく、「エアブラシ」を選択して果物などを油絵風に描いてみましょう。

1. ソフトの起動: 「スタート」 「すべてのプログラム」 「アクセサリ」 「ペイント」とマウスクリックして「ペイント」を起動します。
2. キャンバスの大きさ: ペイントのメニューから「変形」 「キャンバスの色とサイズ」をクリックしてキャンバスの巾と高さを指定します。(例: 巾800、高さ600ピクセル)
3. エアブラシ選定: ペイントの左側に表示される多数のアイコンの中から「エアブラシ」  をクリックします。
4. エアブラシの太さを指定: ペイントの左側アイコン群の下部にエアブラシの太さが3種類表示されるので、描画の状況により適宜選択します。
5. エアブラシの色を指定: ペイントのカラーパレットから、描画に使用する色をクリックします。
6. 描画: マウスのポインタをキャンバスの上に置いて、左クリックしながらマウス位置を移動すると、指定した色のスプレーを吹きかけたように描画されます。色を重ね塗りすると油絵風になります。
7. 色の作成: カラーパレットの色と違う色を使用したい場合は「色」 「色の編集」をクリックします。「色の編集」画面が開くので、「色の作成」をクリックします。



色の編集



カラーパレットに無い色を作るには、「色の作成」をクリックします。右のように編集画面が変わります。

色の作成には、先ず基本色を選択し、右側の矢印位置を上下に移動して濃度を調整し、「色の追加」をクリックします。作成した色を指定して「OK」として描画します。

色の編集

8. 消しゴム: 描画の一部分を消す場合は、アイコン中の「消しゴム」をクリックして、マウスを左クリックしながら描画部分をなぞり消去します(消しゴムサイズも選択)。
9. 元に戻す: 描画や消しゴムの操作に失敗した場合は、「編集」 「元に戻す」で、操作前の状態に戻し、操作し直すことができます。

## 10. 描画例：リンゴ、ピーマン、バナナ

- (1)リンゴ:丸く赤色で塗ってから、黄色、白などで濃淡や反射の感じを出します。濃い目の色で枝や影をつけます。
- (2)ピーマン:緑色で全体を描き、黄色、薄緑、白などで陰影をつけます。
- (3)バナナ:黄色で全体を描き、それに白、薄黄、緑色などで濃淡をつけます。
- (4)移動:描画したもの、例えばリンゴ、の位置を変えたい場合は、ペイントのアイコンから「選択」や「自由選択」を選び(   ), リンゴを囲うと、リンゴの位置を自由に移動することができます。
- (5)コピー:描画したもの、例えばリンゴ、をコピーしたい場合は、上記(4)と同様にアイコンの「選択」や「自由選択」を指定してから枠でリンゴを囲んでおき、「編集」「コピー」とし、更に「貼付け」とクリックすると、リンゴがコピーされます。
- (6)縮小・拡大:上記(4)、(5)で、対象物を「選択」もしくは「自由選択」の枠で囲っておいて、「変形」「伸縮と傾き」とクリックすると、大きさを変えることができます。下図の小さめのピーマンは、別のピーマンをコピーして縮小したものです。
- (7)背景:ペイントのアイコン中から「塗りつぶし」を選び、適当な色を指定して背景に色をつけると描画の感じが変わります。



(備考) エアブラシではなく、「鉛筆」を使って描画するケースについては、ナルクパソコン教室テキストのNo.17、18、19をご参照ください。また、ちぎり絵風の絵にすることもできます。(作例:テキストNo.50)